



発行／古里住民自治協議会 発行者／宮下 富雄 編集／広報委員会 第71号

令和4年度 古里地区「ながの未来トーク」

10月22日(土)に古里総合市民センターにおいて、荻原健司長野市長及び関係部局長においでいただき「ながの未来トーク」が開催されました。



今回の議題は大きく二つ。防災対策と、周辺道路整備についての課題を率直に市へ申し上げました。

1. 古里地区の防災対策について

- (1) 避難所開設における初期地元対応について
- (2) 避難行動要支援者支援について

2. 古里地区の周辺道路整備について

- (1) 北部幹線の地域活性化と先線の早期着工について
- (2) 三才・南郷連絡道路の建設計画について
- (3) 長野市民病院周辺の道路環境整備について

長野市からの回答の要約は、

1. - (1)

- ・避難所開設時、市職員の駆け付けの他に支所職員が避難所開設できるようにした。
- ・併せて、親戚・知人等他への分散避難もお願いしたい。
- ・今年度「長野市地域防災計画」の見直しを進めている。
- ・行政による公助だけでなく、「互助」・「共助」をお願いしたい。

1. - (2)

- ・今年度市が主体となって、優先度の高い方の個別避難計画の作成を進める。
- ・災害発生時には対策基本法に基づき、「避難行動要支援者名簿」を支援関係者に提供する。

2. - (1)

- ・古里小学校前交差点の円滑化と安全を確実にするには、計画路線の延伸だと考えている。
- ・現在、信叟寺南と市道東北中学校線の600m間の認可取得を令和5年度中に目指している。
- ・令和7年度は権利者調査や測量実施の予定。
- ・交通量調査も継続する。

2. - (2)

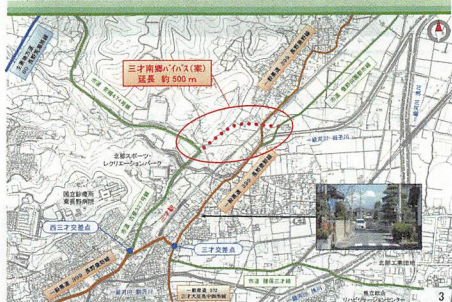
- ・三才駅から先の県道長野豊野線は現道拡幅が困難なため、県からは一つの案として、現在事業中の県道長野豊野線の整備進捗を考慮しながら検討していくと聞いている。
- ・令和5年度には具体的な調整を進め、早期に事業主体を含め方向性を決めたい。

2. - (3)

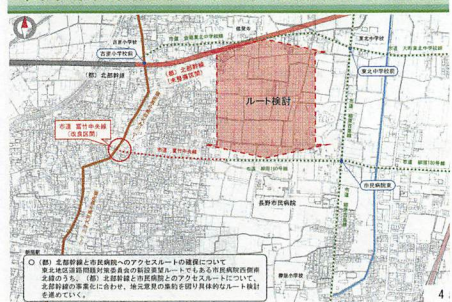
- ・都市計画道路北部幹線から市民病院区間について、北部幹線未整備区間の事業計画に合わせ事業化に向けた検討を進める。



(2) 三才・南郷連絡道路の建設計画について ② ●長野市



(3) 長野市民病院周辺の道路環境整備について ●長野市



4. 分散避難＝避難とは「難を避ける」こと



今回実施した地域からの要望を市長に向けて提案できる機会は、大変重要であると共に、価値観の多様性を含め、地域社会の「安心」・「安全」・「信頼」を培うためにも大事な機会でした。

令和4年度 防災講演会 安心安全部会

令和4年度の防災講演会は、昨年に続きコロナ感染防止のため、受講者は区3役や自治協議会役員などに絞り52名の参加をいただき、10月29日(土)に開催されました。長野県防災出前講座より、長野県危機管理防災課防災指導員の太田英雄様に「地域の防災力をアップしよう」と題して講演をいただきました。

講演会では、2014年11月の長野県神城断層地震や古里地区も大きな被害を受けた2019年10月の令和元年東日本台風災害などの被害状況について再確認し、その中から得られた教訓についてお話をいただきました。また、長野県及び古里地区の活断層については、糸魚川―静岡構造線活断層帯や長野盆地西縁断層帯があること、かつては善光寺地震で大きな被害を受けたことについて話されました。また、2018年7月の西日本を中心とした豪雨による土砂災害からは、住民一人一人の主体的な避難の支援に向けて国、県、市町村などが連携して具体的なガイドラインを示すことが重要とのお話がありました。

講演の後半は、「クロスロード(重大な分かれ道)」というゲーム形式で、いろいろな災害現場の事例(設問)に対し、対応するか・しないかをYES/NOのカードで聴講者が答える方式がとられました。

例えば、「3才の女の子を連れた主婦、大雨で避難するとき、近所の寝たきりのお年寄りが気になるが一緒に避難するか、しないか」などで、講師からは答えは一つでないことを前提に、助言をいただきました。

講演を通じ、改めて区を中心とした住民自治組織の役割の大きさと、地域内の助け合いと思いやりの大切さ、そして普段からの訓練の必要性を痛感いたしました。

さて、今年度も、引き続きコロナウイルス感染防止対応により、様々制約のある中、各区の自主防災会におかれましては可能な限り防災訓練を実施いただき、大変ご苦労様でした。

安心安全部会といたしましても、皆様に「安心・安全防災マップ」の活用を呼び掛けるとともに、関係機関のご協力をいただき、土のう作りや情報収集訓練などを実施いたしました。今後とも緊張感をもって事業を進めてまいりますので宜しくお願い申し上げます。



令和4年度 古里地区福祉大会 福祉健康部会

今年の福祉大会は、「新しい地域活動のかたち」と題して、コロナ禍の折、なかなか開催できずに躊躇しているお茶のみサロンなどの地域活動について、これまでとは違った環境下での開催に対する考え方、方法などについて、他地区の事例なども交えながら、社協、地域福祉課で地域福祉担当として、様々な地域活動を支援されている、小林ひと美様を、お招きし講演を頂きました。

長年に渡るコロナ禍で、地域活動の方法が引き継がれない状況下の中で、打開策のヒントが見つかり、非コロナ3原則である、「もたす」・「ひろげす」・「もちこます」を実践すれば、今まで以上に新しい景色が見えてくるように思え、私達役員は元気づけられました。



令和4年度 やさしさとふれあいの集い



古里小学校マーチングバンド部



“サイまる”くん開会ごあいさつ



大きなお餅つくぞー

やさしさとふれあいの集い／がんばろう古里2022復興支援事業を開催しました。

「夢と希望が持てる地域づくりを目指して」をテーマとして“やさしさとふれあいの集い”を開催しました。同時に「がんばろう古里2022 復興支援事業」も開催しました。

- 開催日 11月13日(日) 9:00～
- 開催場所 古里総合市民センター 多目的ホール、ホール、南側駐車場等
- 開催内容
 1. 室内演奏会
古里小学校 合唱部、マーチングバンド部
 2. 物品販売
・農産物販売 ・ポップコーン無料提供
 3. 復興支援 もちつき大会



どこでも人気 “サイまる”くん

※三才駅キャラクターの“サイまる”も演奏会やホール・農産物販売に出演しました。

※新型コロナ感染予防のため、感染予防をしっかりと行い開催しました。

やさしさとふれあいの集いは、令和元年台風19号災害・コロナ禍があり、4年ぶりに開催しました。

地元古里小学校の合唱部・マーチングバンド部の演奏に参加者は勇気をもらいました。

農産物の販売は、市価の半値近い価格とあって大好評のうちに完売しました。農産物等の提供をいただいた地区の皆様ありがとうございました。福祉活動に使わせていただきます。

復興支援もちつき大会は、小学生の皆さんに行っていました。

「がんばろう古里2022」は、古里総合市民センターホールに災害時と復旧後の写真を掲載しました。また、災害に備えるために自家発電機を購入しましたので、一緒に展示しました。



家計にやさしい
白菜、キャベツ大放出



正確に！お米の計量袋づめ



さあ、さあ古里米が安いよ～



宮下会長、深々とお礼のごあいさつ

令和4年度 古里人権住民集会 文化教育部会

12月4日(日) 古里総合市民センターにて、「なかよく生きる心をはぐくむ」をスローガンに、総勢70余名の住民の参加の下、令和4年度古里人権住民集会が開催されました。

第1部の体験発表では、古里小、徳間小、及び東北中の各1名の代表者から人権学習で学んで考えたことを発表していただきました。とても大きな声で自分の考えを堂々と発表し、とてもわかりやすく共感できる内容でした。

第2部では、人権啓蒙ビデオ「夕焼け」を視聴しました。主人公は中学2年生のヤングケアラーです。お互いに気につけ、人と人がつながっていくことが、ケアラーと家族が抱える問題解決の糸口になる様子が描かれていました。

クライマックスでは皆さんの目に光るものも見られ、とても感動的な内容でした。

第3部の、長野マンドリンクラブの皆さんによる演奏は、人権集会にふさわしく静かで趣のある曲を演奏していただき心に染みました。

人権集会はこのような内容です。今後も多くの方々のご参加をお願いします。



ふるさと部会 活動と今後に向けて ふるさと部会

令和4年度のふるさと部会は「ふるさとづくり委員会」と「北部幹線に係る地域活性化委員会」で構成され下記の事業目標で活動しています。

1. ふるさとづくり委員会

1) ホタル観賞事業

コロナ感染拡大防止のため中止としました。後日に委員会有志で2回ほど現地調査を実施しましたが、ホタルは数匹の確認しかできませんでした。河川の改修も進んでいるなかで来年度以降は実施等について検討が必要に思えました。

2) 深掘り<古里探訪>冊子の作成事業

「史跡マップ」を基本に各地区の資料収集を実施中です。資料集約も最終段階になりました。来年度以降資料活用に進めることになります。



駒沢川上空より 古里中央公園北部幹線方面



2. 北部幹線に係る地域活性化委員会

ふるさとのみらいづくりを考える会(当該箇所の地権者団体)の長野市へ市街化区域変更要望提出を受け、同委員会との懇談を通し当該地区の賑わいや住民が集える場所となることを目指して、今後は情報等を共有するとともに共助をもってその実現を支援することを合意しました。また古里小学校交差点東への延伸に伴い新たな課題に対応していきます。

古里地区成人祝賀式 ～二十歳のつどい～

古里地区成人祝賀式



新春1月2日(月)古里総合市民センターにて、古里地区成人祝賀式が開催されました。

新成人90名が出席されました。コロナ禍が続いておりますので感染対策を徹底して実施しました。

式典は「古里の歌」のCD静聴から始まり、住民自治協議会の宮下会長の式辞、来賓祝辞は荻原長野市長からのビデオメッセージと勝山市議会議員よりいただきました。

成人代表の言葉は、東富竹の高橋大法(ひろのり)さんから力強い決意表明がありました。

アトラクションでは、下駒沢氏子保存会の子供獅子舞で式を盛り上げていただきました。

好天に恵まれ式典後の会場外では久しぶりに再会した友人との会話が弾み、笑顔の花があちこちで満開に咲いていました。

今年成人式を迎えられた方々は、卒業、進学や就職においてコロナの影響を大きく受けた方々です。激動の時代ですが、この日を忘れずに新たな気持ちで自分の夢に向かって、優しくたくましく生きていってほしいと願っております。

この祝賀式のために、ご尽力いただいた皆様に心より感謝申し上げます。



成人代表決意表明



久しぶりの同級生たちと



下駒沢氏子保存会

ウィズコロナ時代にいかに向き合うか

世界の風景を変えた新型コロナパンデミックは、人々の暮らしに大きな影響を与え、約2年に及ぶコロナ禍の中で苦慮し、模索が続けられています。人口減少あるいは高齢化が進む中で、従来から様々な課題が指摘されてきました。災厄は課題をより顕在化させ、その進行を加速化させます。しかし他方で地域の人たちの育ててきた地域力が発揮されて形になるきっかけを与えられてもいます。大きな災厄ではあるけれども、これを前向きに受け止めて、課題を直視し、課題を克服する道筋に踏み出すきっかけとすべきであると考えます。古里住民自治協議会が設立されてから15年が経過した現在、古里住民自治協議会による取組は地域に根差した活動として定着しており、名実ともに地区を代表する組織となりました。住民自治協議会の活動は本市の活力であり、誇りです。古里支所といたしましては、引き続き、古里住民自治協議会と協力し、都市内分権の担い手であり協働のパートナーである住民自治協議会の独自性や自主性を尊重し、その活動が“持続可能な住民活動”となることを目指して長野市版都市内分権を推進してまいります。

古里支所長 上田哲夫

古里総合市民センターリニューアル

平成14年3月に竣工した古里総合市民センターは、建物や設備が20年を経過し老朽化や故障など、ご不便をお掛けしていることから、今後も地域の皆様の活動拠点として、安心してご利用いただけるよう、長寿命化改修工事を令和4年7月から開始しました。

工事は、コロナ禍によるサプライチェーンの影響や、半導体等の不足による機材調達の遅延などにより約7カ月を要し、令和5年2月に一旦終了となりますが、一部の工事は来年度に繰越しとなりました。

工事中は、公民館をご利用いただく際に影響が最小限となるよう調整してまいりましたが、大きな改修となる場合には、行事や貸館等を一部制限させていただいたうえで、工事を実施しました。

ご協力いただき、ありがとうございました。

来年度への繰越工事は、着工時期がまだ決定していませんが、機材が納入され次第、再開となる予定です。

引き続きご理解賜りますよう、お願い申し上げます。

今後も、住民自治協議会のご協力を得ながら、地域の公民館として親しんでもらえるよう努めてまいります。どうぞよろしくお願いいたします。

古里公民館長 宮沢英夫

地区だより

今年も小正月の恒例行事『どんど焼き』が各地区育成会、消防団、各種団体の皆さんが中心になって行われました。1月8日実施された上駒沢地区『どんど焼き』の田んぼでは、北東からの強い風を受け、二本一対の飾り柱が勢いよく燃え盛り、西三才地区では集まった大勢の人が無病息災、五穀豊穡を祈願していました。また子供たちも加わり持ちよったお餅を、それぞれ工夫した網で焼いて楽しんでいました。



古里住民自治協議会ホームページで最新情報をチェック!!



古里住民自治協議会の活動情報・古里地区の情報等をご覧ください。



スマートフォンではこのQRコードから

公式Webサイト <https://www.furusato.nagano.jp/>

いきいきふるさと 古里住民自治協議会

HOME お知らせ一覧 活動予定 活動報告 古里住民自治協議会 お問い合わせ アクセス

